

# みんなで子育て

家庭教育学級もまとめの時期になってきました。来年度担当される方への引継ぎを考えはじめましょう。

西濃県務所 振興防災課 振興防災係  
家庭教育担当:酒井 俊巨  
電話:0584-73-1111 <内線212>



バックナンバーはこちら ↑

## あけましておめでとうございます。

日頃は、家庭教育学級の開催にご尽力いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が始まったときの「家庭教育学級がなくなってしまうのではないか。」との心配は杞憂に終わり、オンラインや在宅での開催が継続的に行われていることに、感謝しかありません。今年度は、そういった「在宅取組型」中心から、会場開催の家庭教育学級が増えてきて、直接顔を合わせリアルタイムで思いを共有できるようになってきました。保護者の満足度の高い「子育てサロン型」も復活してきました。また、PTAの負担軽減や地域と連携する活動も見られるようになりました。防災やSDGs、性教育など喫緊の課題をテーマにして取り組むことも増えてきました。どれも「持続可能な家庭教育学級」としての多様な取組です。皆様の熱い思いに感動しています。本当にありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 1年間の締めくくりとして

役員の皆様にとって、1年間の活動を締めくくる時期が近づいています。今後、新しい家庭教育学級長さんへの引き継ぎも始まります。こうした機会を大切に家庭教育学級の意義を確認できるように工夫しましょう。集まって開催ができなければ、次の内容を取り入れた書面で今年1年の取組を伝えましょう。

### ◇ 今年度の活動をふり返りましょう。

今年は参集型の家庭教育学級が増えてきました。また、「在宅取組型」が行われることによって、今までより多くの保護者の参加を得ることができました。しかし、全ての保護者が全ての家庭教育学級に参加されたわけではありません。1年間の活動内容を知ってもらうために、足跡をふり返りながら、よかったことや学べたことを具体的に紹介しましょう。実施日・内容・講師・参加者の感想など、「行ってよかった」「行けばよかった」と思ってもらえるような伝え方ができるといいですね。特に、開催にあたって工夫したり、努力したりしたことも伝えてください。

### ◇ 参加者の感想や要望を聞きましょう。

集まったの閉級式・閉講式ならば、グループに分かれると、発言しやすくなります。役員さんがそれぞれのグループに入って感想や意見を聞きましょう。来年度に向けての要望やアイデアが出てくることでしょう。そんな声がさらなる活動の充実につながっていきます。書面開催ならば、アンケートで感想や要望をまとめ、伝えましょう。

### ◇ 参加・協力してくださった皆さんに感謝の思いを伝えましょう。

参加してくださった皆さんに、一緒に学べたことや協力してもらったことへの感謝の気持ちを伝える場を設けてはいかがでしょうか。プリント作成や送付の準備・片付け、アイデアの提供、参加の呼びかけなど、いろいろな面で協力していただいたことと思います。今までお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えましょう。

### ◇ 1年を終えての役員としての感想を伝えましょう。

最後に、1年間をふり返って、役員をしてきた感想を伝えましょう。役員を引き受けた時の気持ちや、閉級式・閉講式を迎える今の気持ちを話してください。実際に頑張ってくださった役員さんの声は、参加者の心に響きます。そして、来年度引き受けてくださる役員さん方を勇気づけることになると思います。

# 大垣市立荒崎小学校PTA 家庭教育学級 わが子を守る親になるために ～現代の性教育の大切さを知ろう！～ 「講演会型」

令和5年11月17日(金) 15:15～16:00

子供にふいに質問されても「大切な事」は



- ・ 濁さない
- ・ 隠さない
- ・ ごまかさない

## 助産師は、性教育の専門家

助産師とは、妊娠から出産、育児に至るまでの母子の健康を支える専門職です。性と直接関わっていらっしやるので、性教育の実践に有用な人材として認められています。

学校においても、保健体育や理科で性に関わる授業が行われますが、一人一人の子どもの心と身体の成長には差があるため、全員が適切な時期に行われているとは言えません。しかも、教える内容についても制限があります。

「赤ちゃんは、どうして生まれるの？」

子どもたちが不思議に思って質問します。また、中学生ぐらいになれば、初潮や精通があります。

そういう時、どのように対応すればよいのでしょうか。

この日は、同じマタニティーホームで働いてみえる3人の助産師さんが、大人が適切な時期に適切な内容を淡々と伝えていくことの大切さや、これから迎える思春期での子どもへの関わり方を話されました。

### 幼少期

- ・ トイレトレーニング→プライベートゾーンの話
- ・ 優しくタッチすることの大切さ
- ・ 命の大切さ

### 小学校 低学年

- ・ 何でも話せる親子関係を築く
- ・ 愛情を伝える
- ・ 男女の違いについて

### 小学校 高学年

- ・ 避妊や性感染症の話
- ・ SEXについて
- ・ 相手の同意、自分を大切にすること

### 中学校 高学年

- ・ 体の変化や月経について
- ・ 妊娠、出産の話
- ・ いろいろなことの個人差、個性について
- ・ ネットやSNSの情報について



### 性教育とは心が生きる教育です

宝物として生まれたわが子はどんどん成長していますね。

何歳になってもわが子は可愛いものですが、その成長に合わせた接し方を変えていかなければ、子どもは「自立」できません。体も心も大人へと成長し、自立していくターニングポイントが「思春期」と言えるでしょう。

講師には、具体的な質問にも答えていただき、理解が深まりました。



思春期は、子どもから大人に成長しようとするホルモンの影響で、心も体もアンバランスで「葛藤」している時期です。

## 思春期の子の関わり方

伝えたい事は冷静に!!  
要点をまとめて話す

鬱陶しがられていると思ったら素早く身を引く  
子供の話を最後まで聞いてあげる  
途中で意見は言わない(ぐっとこらえる)  
腹が立ったらバトルせず、離れる、距離を置く  
(別の部屋に行く)



【生理が来たと言う事は】

赤ちゃんを産める準備を始めたという事

【精通が来たという事は】

赤ちゃんを作ることが出来るという事

※男の子は二次性徴と共に異性に興味をもって性的興奮を感じたり、性行為に興味を持ってくる





# 企業内家庭教育研修

## 株式会社ラディアント

みなさんの職場でも研修してみませんか。何人でも、どの時間帯でも、無料で開催できます。  
西濃県事務所にお電話ください。

日時：和5年11月8日（水）  
11:00～12:00  
対象：従業員 44名  
テーマ：障がい児・者の性について  
講師：東海学院大学人間関係学部  
子ども発達学科  
教授 杉山 章 氏

岐阜県では、家庭の教育力の向上と地域社会全体での子育ての推進を目的に、企業や事業所と連携しながら、子育て中の親だけでなく、これから親になる従業員、子育てが一段落した従業員、管理職など幅広い層への家庭教育研修会を開催しています。  
このたび、株式会社ラディアント様にて、従業員の皆さんを対象に開催させていただきましたので、紹介します。

6月に引き続き、同じテーマの研修です。

前回の研修を受けての  
実践を発表



### 【アンケート結果】

本日の研修テーマと内容についてどう思いますか。

大変よい	よい	あまりよくない	よくない
72.1%	27.9%	0%	0%

企業で家庭教育についての研修を実施することについてどう思いますか。

ぜひ受けたい	受けてもよい	あまり受けたくない	必要ない
74.4%	25.6%	0%	0%

【主催者様の声】  
「性」の知識をしっかりと得ることが大切だと思いました。「性」に関しては悩みの多いこともあり、もっとお話を聞きたかったという声が多数ありました。

### 【参加者の感想】

- 成長にともなう性の問題は、必ずおとずれます。どう支援するか悩むことが多いので参考になります。
- 性教育についての抜本的な考え方やそれらを踏まえての対象の方へのアプローチを学ぶことができ、職員間の意識を高めることができました。
- 公で話しづらい、相談しづらい、議論を深めることが難しいテーマを、分かりやすく、ポイントを押さえて話していただきました。
- 障がい児・者の方は、言語コミュニケーションがとりにくく、本人の思いを理解することも対応の仕方も難しいので、こんな時はどうしたらいいかなど知ることができました。
- 性教育は、個人に与えられた権利であり、健康を保つ上で大切であるということが分かりました。
- 現在、施設内で問題として話題になる内容だったので、非常に勉強になりました。
- 性教育とは、人権教育であるという内容が心に響きました。
- 性教育は相手・自分を大事にする人権の問題であること、私たちの仕事はマイノリティーに寄り添う仕事であることに気づきました。性教育は、中高生などのイメージでしたが、幼児期から伝えていくことが大切と知りました。
- 性の問題は、幅が広く年齢に応じて絵本や書籍などで伝えていくことが大切だと感じました。
- 昔に偏った考えの自分がいることに気づきました。今の時代を知り、また、自分も知識を伝えていく必要があると再認識できました。

# 垂井町 児童発達支援事業所 いずみの園

## いずみガーデン 「子育て講演会」

町内0～5歳児保護者対象  
令和5年10月31日(火)  
10:30～11:45



### 保護者の学びと癒しの場に

児童発達支援事業所とは、小学校入学前のお子さんの療育を支援する所で、各市町にあり、「いずみの園」は、垂井町にある児童発達支援事業所です。「いずみの園」では、今年から、町内の0～5歳児の保護者の学びの場、癒しの場として、「いずみガーデン」を開催することにしました。今回は「子育て講演会」、次回は「ピアノ演奏会」を行います。いつも子どもたちの療育で使われている会場は、職員の方が作られた素敵な掲示で飾られ、ほっとする空間に様変わりしていました。

ア  
リ  
ヤ  
テ  
ン  
ト  
ウ  
ム  
シ  
、  
ミ  
ツ  
バ  
チ  
の  
か  
く  
れ  
ん  
ぼ  
の  
掲  
示  
が  
部  
屋  
の  
雰  
囲  
気  
を  
温  
か  
く  
し  
て  
い  
ま  
す。

### NPOひまわりの花

中野 たみ子 理事長

中野先生は、西濃圏域発達障がい支援センターで地域支援マネージャーでもおられ、保護者の相談や、発達支援に関わるスタッフの講師として活躍されています。



中野たみ子

垂井町いずみガ-デン

### 親子のかかわり

R510.31

- 母子の関係が発達の根幹・・・安心をもたらし母であり、家庭である心地よい、温かくて安心な母の胸
- 感覚の発達・・・感覚の問題を持っていると育てにくい。  
聞く  
触る  
見る  
体を動かす  
バランスを取る
- 共感の発達・・・人と人の関係性は後の人生を左右する。スマホでは育たない  
眼差しを合わせる  
「見て！」という振り返り  
「ママが指さした物を一緒に見る（共同注意）」
- 言葉の発達  
視線、表情、行動、指差しや手差し、音声、ことば等すべてがコミュニケーションの手段です。  
家庭の会話が語彙の発達を助ける。子どもの話に耳を傾け、伝え返しをする。
- 子どもは好きなことだけしていれば良いの？嫌なことはしなくていいの？  
あなたは自分の思い通りになっていますか？  
嫌なことは一つもないですか？  
子どもの言いなりは将来にわたって子どもの家来になることですが・・・？  
「泣けば要求が通る」「怒れば要求が通る」という誤学習をさせるのは大人です！
- 叱り方:「ダメ！」は半分しか教えていない。どうしたら良いかを教えましょう！
- 人間は人間の中で学んでいく動物です。親子のかかわりを大切に！ただし、子どもは親の所有物ではないので、親の思うようには育ちませんよ！

### 遊びや生活の中で身につく感覚

- ブランコ：身体のバランスをとる。脳の感覚統合。
- かくれんぼ：ボディイメージ（瞬時に体が入るか、そのためにどう体を動かすのか判断できる。）
- 鉛筆や箸をもつ指先の感覚：お金をつまんでとり、貯金箱に入れるあそび。折り紙を折る。
- 手首の回旋：蛇口をひねる。ひねることで開けられる容器にミニカーなどをしまおう。

### 言葉の発達を助ける

- 視線、表情、行動を言葉にする。  
→「きれいだね。」などの形容詞を使う。  
→「とってほしいのね。」と意思を言語化する。
- 子どもの言いたかった断片的な内容（「たけし」「かけっこ」）をまとめて伝え返す。  
→「今日、こども園でたけし君とかけっこをしたのね。」

### 共感しながら、してほしいことを言う。

- 「泣けば、怒れば、要求が通る」という誤学習は大人のせい。
- 「ダメ！」ではなく、子どもが落ち着くのを待って、「〇〇したかったのね。こうするとよかったね。」と次の行動を伝える。
- 「ダメ！」ではなく、やってほしいことを言う。
- するとよい行動を大人が言葉にする。  
「のぼったらダメ。」→「おりようね。」
- 言語的推理は難しい。  
「お風呂を見てきて。」  
→「お風呂のお湯が半分入っていたら止めて。」
- 絵本の読み聞かせは、言葉からのイメージする力を育てる。









## 土岐市立駄知小学校 在宅取組型 「だちっこ」の日 親子で話し合い、ありがとうを伝えよう!

取組期間 令和5年 7月21日(金)～8月27日(日)  
参加者 全校児童(264人)と保護者(196人)

### 感謝の気持ちを家庭・地域に発信する在宅取組型家庭教育学級

駄知小学校では、毎年、夏休みに、「だちっこ」の日として、家族と一緒に取り組む在宅取組型家庭教育学級を行っています。今年度は、昨年までの取り組みコンセプト(お世話になっている人へ「ありがとう」を届けよう)を継承し、PTA 家庭教育委員会が中心となって「『ありがとう』を伝えるしおり作り」に取り組みされました。

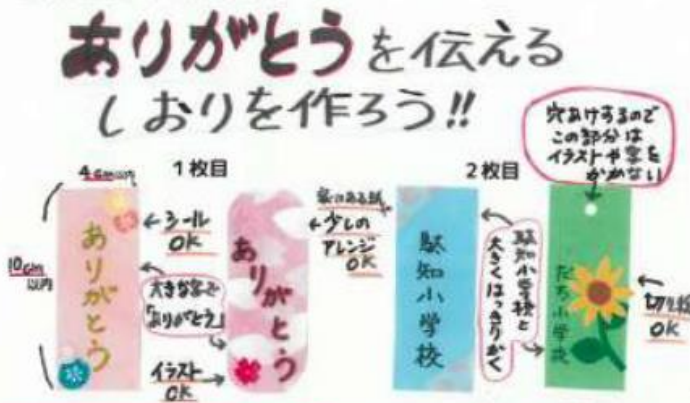
今年度は、PTA 会長の鈴木さんの発案のもと、「だちっこ通信」を発行し、駄知小学校の取り組みを情報発信して、もっと地域と家庭と学校がつながる試みに挑戦しています。この通信は、PTA 役員とボランティアの子どもで作成され、地域に届けられます。内容は、地域の方に資源回収や、地域清掃などの依頼や、お世話になったことへのお礼など駄知小学校の活動を紹介するものです。こうした学校と地域をつなぐ活動を支えようと家庭教育委員会で企画したのが、この取り組みです。

#### 取組の内容(呼びかけのお便りより)

「だちっこ通信」で地域の人に呼びかけたところ、芝刈りをしてくれたり、陶器を寄付してくれたり、多くの方々が駄知小学校のために動いてくださり、たくさんの方の支援の力があつまっています。その支援の気持ちに感謝を伝えるため、子どもたち、保護者の皆様に「ありがとう」と書いてもらったしおりの作成をしたいと考えています。

長年にわたり『ありがとう』を伝えよう』を継承する駄知小家庭教育学級の取組

令和5年度 だちっこの日



お世話になった方へプレゼントとして使用

実際に作成された「しおり」



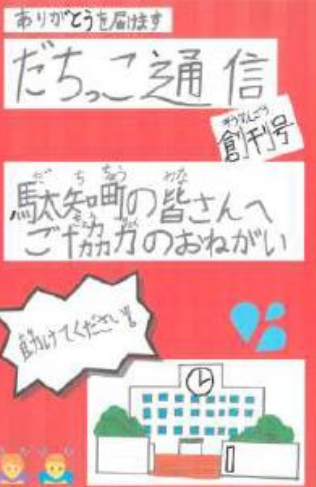
#### 家庭教育長 土屋由香里さんの思い

子どもが学校に通う上で、思った以上にたくさんの方にお世話になっていたことが役員になってわかりました。今回は、夏休みの宿題ということもあり、親子で話し合ってくれたと思います。中には、すぐ凝ったことをしてくれた親子もいて400枚ぐらいのしおりを作ることができました。

これからだんだんと子どもの人数が減っていく中で地域の方の助け、協力は本当に力になります。駄知小学校のために活動してくれた方や協力してくださった方にありがとうのしおりを渡すことで、小学校を身近に感じてもらいみんなで子どもたちを見守っていこうと思ってもらえたらいいなと思います。

#### 【このよさを学びたい!】

学校と地域をつなぐ PTA 活動を支える取組になっています。家庭(子ども・保護者)・学校・地域をつなぐことで、よりよい社会づくりに貢献している気持ちが育まれます。



依頼とお礼はセットになっています。学校と地域をつなぐ秘訣です。

駄知小情報満載、心温まるお便りです。

1. 資源回収ボックスの設置について詳しくは次のページをご覧ください。今後、資源回収場所を譲り受けたいと考えております。町内の方でご協力いただける方がお見えになりましたら、駄知小学校までご連絡ください。
  2. 家庭で使っていない陶器の回収
  3. 草取りボランティアの募集
- ※2、3につきましては次第でお知らせします。
- 駄知小学校PTA会長 鈴木 久美子

